

協議会 2025 年度第 17 号  
2026 年 2 月 13 日

静岡市長 難波 喬司様

特定非営利活動法人全国女性会館協議会

代表理事 納米恵美

(内閣府 男女共同参画会議 議員)

東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館ビル

電話：03-6426-1700 E-Mail：info@j-kaikan.jp



## 静岡市における男女共同参画行政について

### 要望書

静岡市におかれては事務分掌条例の一部を改正する議案を市議会に上程されようとしていと承知していますが、男女共同参画行政をこれまで所掌してきた「市民局」の事務分掌には「(3) 男女共同参画に関する事項」が含まれているところ、「市民局」と「観光交流文化局」を合体して設置される「観光文化・市民局」の事務分掌案に「男女共同参画に関する事項」が含まれていないことを憂慮しています。

特定非営利活動法人全国女性会館協議会は、全国の男女共同参画センターのネットワーク組織です。男女共同参画センターにおける事業が充実することにより、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的に活動しています。

静岡市女性会館は当法人が実施している表彰事業である事業企画大賞、イチオシ事業大賞において、複数回、大賞を獲得するなど優れた実績を残されており、静岡市の男女共同参画推進に係る取組は全国的に高く評価されています。

国においては「女性活躍・男女共同参画の重点方針 2022」において「地域におけるジェンダーギャップの解消」が必要であるとし、「近年、若い女性が地方から大都市へと出て行く傾向が強まっており、少子化・人口減少が加速する要因の一つとなっている。その背景には、根強い固定的な性別役割分担意識があると考えられ、特に経済的に自立したい女性にとっては、地元で生活するという選択肢が選びづらくなっている。この流れを止めるためには、全国津々浦々でジェンダーギャップを解消し、男女共同参画社会を実現する必要がある」と分析しています。「女性活躍・男女共同参画の重点方針 2025」においても「女性に選ばれ、女性が活躍できる地域づくり」への取組が急務だとされています。

静岡市ホームページ「静岡市長の部屋」に掲載されている難波市長のごあいさつを拝読しますと、『安心感がある温かい社会』、今を生きる人々が安心と幸せを実感でき、将来を担う子どもたち・若者たちが、このまちの未来に夢や希望を持てる静岡市にしたい」と書かれています。市長が描かれる静岡市のビジョンを実現するためには、性別にかかわらず誰もが力を発揮し、安心して生き活きと暮らしていける男女共同参画社会の実現が不可欠であると考えます。

貴市における男女共同参画推進行政のより一層前進のために、所管局の事務分掌に「男女共同参画に関する事項」が明示的に含まれることが重要であると考えます。また、「観光文化・市民局」のもとに設ける組織編成においても、部署名に「男女共同参画」を明示し、権限、人員態勢において従前を下回ることがないようにすることを要望します。

以上